

高学年 テーマ① 自然がもたらす恵みと災いを知る

学習のねらい	<u>大雨が降ったときの危険と、地域にある自然の良いところを知る</u> <ul style="list-style-type: none"> ■大雨が降ったときの状況を考える ■大雨が降ったときに起こりうる“災い”を知る ■地域にある“恵み”を知る 	
必要物品・資料	<input type="checkbox"/> 授業用スライド資料(高学年①) <input type="checkbox"/> ワークシート(高学年①)	<input type="checkbox"/> プロジェクター・スクリーン <input type="checkbox"/> レーザーポインター（もしくは差し棒）

学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
学習の題目 (1分)	1		
導 入 (計10分)			
1. 大雨時に起こることを想像し 学習のねらいを確認する。			◆ グループ・ディスカッション ができるように机・椅子を動かしておく。
1-① 雨が降って困った経験を 想起する。	2	● 雨が降って、困ったことはありますか。 ・遊びに行けなかった。 ・傘を忘れて、びしょ濡れになった。	◆ 児童(数名程度)を指して、 答えさせる。 ◆ 大雨が降っている様子が示 されたイラストを提示する。
1-② 身近な地域で大雨による 災害が起きていることを 知る。	3 4 5~8 9~ 14	● では、雨がたくさん降ったら、みんなの住 むまちや地域ではどんなことが起きるで しょうか？ ・雨が強くて、外に出られない。 ・川があふれる。 ・山から流れてきたどろ水で、道が水びたし になる。 →模範解答を提示する。 ● 【天気図提示:台風と雨の様子】 →説明しながら順にアニメーションを提示 ● 【写真提示:地域で発生した洪水・土砂災 害の紹介】 ・いつ発生した災害か ・どのような災害が発生したか	◆ 「児童個人が困ったこと」と いう視点から、「まちで起き ること」という俯瞰した視点 に変えていく。 ◆ 児童(数名程度)を指して、 答えさせる。 ☆ 普段の雨よりもひどくなった ことを想像できる。 思考力 ◆ 災害当時の児童らの学年・ 年齢を提示して、思い起こ しやすくする。 ◆ 災害写真を提示する。 <div>資料集参照:地域の写真への差替 えや枚数を増やすなど適宜スライド を編集してください。</div>
1-③ 本時の学習のねらいを 確認する。	15	● 今日は、「大雨が降ったときの危険と地域の自 然の良いところ」について学習していきましょう。	
展 開 (計25分)			
2. 大雨による災害を知る。	16~ 17	● さっそくですが、大雨による危険について 考えてみましょう。さきほど写真を見てもら いましたが、大雨が降ったとき、どんな危な いことが起こるのでしょうか？ ・【洪水災害関連】 水かさが増えるから、 川の近くが危ない。 など ・【土砂災害関連】 山から泥水が流れて きたり、がけが崩れそうで、山の近くも危な い。 など	◆ 児童(数名程度)を指して、 答えさせる。 ※ スライド3で意見が出ていれ ば、その振り返り程度とする。 ※ 地域特性を踏まえて、話す 時間を調整する。(例:山地 から離れた地域の場合、洪 水災害に多くの時間を割く)
2-① 洪水災害の危険につい て知る。	18~ 20	● 実際に大雨が降ったときに川やまちがどう なってしまうのか、見てみましょう。 →洪水の危険を提示する。	◆ 授業時間を考慮して、氾濫 (内水・外水)の違いまでは 扱わない。“洪水災害”とし て進める。

学習活動	ppt	発問例と予想される児童の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(○)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
2-② 土砂災害の危険について知る。	21 22	● 「山やがけの近くも危ない」と言ってくれたけど、大雨が降ると山がどうになってしまうか、見てみましょう。 →土砂災害の危険を提示する。	◆ 授業時間を考慮して、土砂災害の違い(土石流・がけ崩れ・地すべり)までは扱わない。“土砂災害”として進める。
2-③ ワークシート「問1」に記入する。 Point:アクティブラーニング グループ活動(教え合い) 教え合いをとおして、児童の理解を深める。	23~24 25 26	【ワークシート(高学年①)】を配付 ● 災害についてお話したことの復習として、グループでワークシート「問1」に答えてみましょう。 ● 答え合わせをしましょう。 ● 大雨が降って、洪水災害や土砂災害が起これば川や山、地域で危険なことが起こることもあります。危険なところには近づかないようにしましょう。	◆ グループで話し合いながら、ワークシートに記入するように促す。 ☆ ワークシートに正答を記入できている。 知識 ※ 授業時間と児童たちの理解力を考慮して、容易な穴埋め問題とする。
3. 地域の恵みを知る。	27	● 続いて、地域の自然の良いところについても考えてみましょう。	◆ 「自然の恵み」に着目させる。
3-① ワークシート「問2」へ記入する。 Point:アクティブラーニング グループ活動(ディスカッション) 意見を共有することで、新たな気づきを得てもらう。	28 29	● 大雨が降って洪水災害や土砂災害が起これば、川や山、地域で危険なことが起きるかもしれません。でも、川や山などの自然があることで、「良いところ」もありますか？ ● そのような「自然の良いところ」について、グループで話し合ってワークシート「問2」に、できるだけ多く書いてみましょう。	◆ グループで話し合いながら、ワークシートに記入するように促す。(グループ共通のシートにまとめるでもよい) ◆ 「良いところ」がなるべく多く挙がるようにする。 ◆ 「良いところ」がスムーズに挙がらない場合もあるので、郷土教育等で学んだことを事前に確認して、場合によっては、児童に合わせた例を授業者から提示する。
3-② グループ・ディスカッションの結果を発表する。	30 31	● この地域の自然の良いところはどんなところですか？ ・ おいしい食べ物がある。 ・ 水がきれい。山がきれい。 ● 大雨が降ると危ないこともありますが、この地域には良いところもいっぱいあることがわかったと思います。	◆ 原則、全グループに発表してもらう。
ま と め (計9分)			
4. ふりかえりをする。	32	● 今日の学習で学んだことをふりかえります。	
4-① ワークシート「問3」へ記入する。 Point:アクティブラーニング レポート活動 自分の思ったこと、考えたことをまとめることで、理解を深める。	33	● 今日の授業で思ったことや感じたことをワークシート「問3」にまとめましょう。	◆ 個人意見をワークシートに記入するように促す。 ☆ 思ったことや感じたことを表現できる。 表現力
4-② 記入結果を発表する。		● ワークシートに書いた結果を発表してください。 ・ 地域に危ないところがたくさんあるから、これから気を付けたい。 ・ 雨がたくさん降ったときには危険があるけど、地域に良いところがたくさんある。	◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。 ☆ 雨がたくさん降ったときには危険があるが、自然があることで、地域の良さが際立つことを理解ができたか。 知識
4-③ 本時のふりかえりをする。	34 35~38	● この地域に大雨が降ったときには、災害が起これば危ないかもしれません。またそんなときは危険なところには近づかず、危険から身を守る行動をとりましょう。 ● でも、大雨が降っていないときは、地域の良いところをたくさん受け取ってほしいです。	◆ 地域の洪水・土砂ハザードマップを紹介し、関心を高める。 <u>ハザードマップは一つの例</u> で想定を超える災害がありうることに触れる。
授業終了			